

瀬戸内市立行幸小学校

・児童数 380名 ・学級数 14学級 ・教職員数 28名（平成26年10月22日現在）

○取組実践のキーワード

思考力・判断力・表現力等の育成

○標題（研究主題）

小中連携による伝え合い、学び合う児童・生徒の育成を目指す取り組み

○取組を始めた経緯

長船中学校区では、平成21年度の全国学力学習状況調査の結果、「表現力」「家庭学習」について充実させる必要性が認められてきた。そこで、「高めよ学力!磨け人間力を!」をスローガンに、平成22年度から中学校区を挙げて学力向上に取り組んだ。

○取組の実施体制

年に3回程度、長船中学校区の4校の担当者が集まり、各校の進行状況・課題等の共通理解及び協議を行う。また、夏休みには、全教職員出席の小中の合同研修会を行い、講話を聞いたり、グループ協議を行ったりする。各校で実践している授業を公開し、他校の教職員も参観する。

○学力向上に向けた具体的な取組

- ①長船中学校区の小中学校で共通の研究主題を実践する。
「生き生きと伝え合い、共に学び合う児童生徒の育成」
- ②本校においては、国語科に重点を置き、全教員が年1回以上の授業公開をして、全教員で協議を行う。
- ③授業の中で、次の3つの手立てを講じて、授業研究に取り組む。「児童の意識の流れを大切にした単元構想及び課題設定」「児童に考えを持たせるための工夫」「考えを広げたり、深めたりする話し合いの場の工夫」
- ④算数科において、3年生以上は習熟度別少人数指導に取り組む。
- ⑤児童生徒が自信を持って授業に臨むことができるように、基礎学力を定着させる取組をする。
（放課後学習「かがやきタイム」、夏休み「算数教室」）
- ⑥家庭学習習慣の確立のために、「家庭学習の手引き」を全児童に配付して指導する。

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

中学校区で授業を見合ったり，合同研修会を行ったりすることで，小中学校間の教員の意識改革から授業改善が図られたこと。また，授業でグループでの話し合い活動を多く取り入れることで，主体的に自分の考えを表現しようとする姿が見られるようになってきたこと。

2 課題

国語科を柱に，「生き生きと伝え合い，共に学び合う児童の育成」を目指す中で，話し合っても考えが深まらない，広がらないといった様子が見られた。今年度は，話し合う内容を焦点化し，児童の話し合いにより，考えが深まるようにすることを課題に，授業研究に取り組んでいる。

○取組の継続・発展の要因

各教科・領域でグループによる話し合い活動を積極的に取り入れて，「学び合い」を組織するとともに，一人一人の発言と教材のどこがつながっているのか，他の児童のどの発言とつながっているのかを考えながら，授業づくりに取り組むことで，学び合う力を高めていきたい。

特に，学級全体での意見交流の時に，グループで話し合った意見の紹介にとどまることがないように，話し合うポイントを焦点化して，話し合いにより考えが練り上げられるようにしたい。

○管理職・中核教員等のアクション

- ・アドバイザーとして研究授業や校内研修等で指導及び助言を行った。
- ・他校との連携の中心的存在となった。

○その他の資料・写真等

(研究授業の風景)

